

議案第78号

宝塚市学校給食の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

資料3 学校給食費改定による学校給食メニューの変化

1 物価高騰による学校給食への影響

成長期に当たる子どもたちにとっては、食べ応えのある(お腹が満たされる)献立であるべきですが、主菜(お碗のおかず)に多くの食材を使用すると、副菜(お皿に盛るおかず)に使用できる食材が少なくなります。

また、主菜においては、旬の食材や栄養価の高い食材を選択するよりも、価格的に安価な食材を選択しなければならない状況が続いており、季節を感じる事が出来る“たけのこ”“グリーンアスパラガス”“三度豆”“きぬさや”などが使えず、食育の観点からも季節を表現することが困難な状況になっています。

このほか、日本の食文化には「彩り」が重要ですが、三つ葉やパセリなども、使用量を減らして対応してきましたが、今では使用していません。このように青みの野菜を減らしたことでビタミンAの給源としての緑黄色野菜の充足率が低下しています。

さらに、果物やデザートは、子どもたちの楽しみの一つですが、主菜、副菜への影響を避けるため、こうした果物やデザートの提供回数を大幅に減らして対応してきました。

こうした工夫により、一定の栄養価を確保してきました。

2 学校給食費の改定による改善点

(1)主菜の充実

主菜に季節の野菜を使った筑前煮や牛肉を使ったすき焼きなど、ボリュームのある煮物等をしっかり提供できるようになります。物価高騰によりエネルギー量やたんぱく質の摂取量が減少していましたが、大幅に摂取量が上昇します。

(2)郷土料理や行事食の提供

郷土料理や行事食などは、繰り返し提供することで、子どもたちの記憶に残し、社会等の教科学習に結び付けることが出来ます。11月には“ぼたん汁”も価格を心配することなく提供できます。

(3)果物、デザートや3品目の献立

子どもたちが楽しみにしている果物やデザートを増やしたり、3品目の献立を増やすことで、エネルギーを始めとする栄養価も充足でき、心身ともに満足感の高まる献立が可能となります。

(4)子どもたちへの影響

旬の食材を知ることで、日本の四季や風土、郷土を知ることができ、それらの歴史や産物・産業に関連付けることで、先人の知恵を学ぶきっかけとなります。(「給食だより」の活用)

食べ応えのある献立や栄養価の高い献立とすることで、子どもたちの健康的な発達に、より効果の高い食事を提供することが出来ます。

3 令和6年11月と令和7年11月(予定)との比較

(1)栄養価

栄 養 価		小学校		中学校	
		令和6年11月	令和7年11月	令和6年11月	令和7年11月
エネルギー(kcal)		541.0	582.0	678.0	731.0
タンパク質(g)		20.9	22.6	24.8	27.5
脂肪(g)		17.0	18.2	17.5	19.8
繊維(g)		3.9	5.1	7.1	7.3
カルシウム(mg)		286.0	302.0	331.0	356.0
マグネシウム(mg)		77.0	82.0	98.0	111.0
鉄(mg)		1.8	2.0	2.4	2.8
亜鉛(mg)		2.6	2.9	3.1	3.7
ビ タ ミ ン	A μ gRE	224.00	219.00	288.00	284.00
	B1 mg	0.33	0.37	0.37	0.45
	B2mg	0.49	0.52	0.54	0.57
	C mg	18.00	19.00	27.00	32.00

(2)使用食材等

	年 月	3品献立	牛肉	豚肉	鶏肉	魚介類	果物・デザート
小学校	令和6年11月	1回	1回	9回	10回	6回	1回
	令和7年11月	9回	3回	7回	9回	9回	4回
中学校	令和6年11月	6回	0回	4回	12回	9回	5回
	令和7年11月	10回	1回	6回	8回	8回	6回

(3)学校給食費の改定により使用可能となった食材の例

牡蠣、帆立の貝柱、鯛、たこ、牛肉、鯨肉、猪肉、果物、旬の食材

(4)献立の変化の例

豚じゃが煮 ⇒ 肉じゃが煮 、 鱈チゲ ⇒ 牡蠣チゲ 、 クリームシチュー ⇒ クラムチャウダー 、 いわしの煮つけ ⇒ 鯛の煮つけ 、 牛肉を使用した献立の復活 、 3品献立の増加

(5)米の価格変動への対応

令和7年度産の米の価格は、10月下旬に決定されますが、現時点では令和6年度精米の売渡価格と比較して約40%(1食あたり約20円)の値上がりが予想されると兵庫県学校給食・食育支援センターから通知があり、その米価が適用される本年12月以降の学校給食費への影響にも備える必要が生じています。

※本年5月以降、米の価格は下落傾向にはあるものの、銘柄米は4,000円台前半/5kgを推移しており、学校給食用米価にも影響が生じる見込みです。